

令和8年度

専攻科学生募集要項

選 抜 区 分	出 願 期 間	実 施 期 日	合 格 発 表 日
推 薦 選 抜	令和7年 4月28日(月) ~ 令和7年 5月2日(金)	令和7年 5月17日(土)	令和7年 5月23日(金)
学 力 選 抜	令和7年 5月21日(水) ~	令和7年 6月7日(土)	令和7年 6月13日(金)
社会人特別選抜	令和7年 5月27日(火)		



独立行政法人 国立高等専門学校機構

長野工業高等専門学校

〒381-8550 長野市徳間 716

電 話 026-295-7362 (学生課教務係)

F A X 026-295-4950 (学生課)

U R L <https://www.nagano-nct.ac.jp/>

目 次

【専攻科学生募集要項】

I. アドミッションポリシー（入学者の受入れに関する方針）	1
II. 募集定員	1
III. 選抜方法・日程等	1
IV. 技術者教育プログラム	1
V. 推薦選抜	2
VI. 学力選抜	4
VII. 社会人特別選抜	6
VIII. 豊橋技術科学大学3年次入学者選抜 （先端融合テクノロジー連携教育プログラム）	9
IX. 推薦選抜，学力選抜，社会人特別選抜における共通の注意事項	10

【専攻科入学案内】

I. 目標とする人材像	12
II. 各専攻の教育上の目的	12
III. 専攻科のディプロマポリシー（修了の認定に関する方針）	12
IV. 専攻科のカリキュラムポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）	13
V. 専攻科教育課程の概要	13
VI. 諸経費・福利厚生等	14

【別添 出願書式一覧】

1. 推薦選抜用
 - 入学願書
 - 受験票・写真票
 - 推薦書
 - 入学志望調書
2. 学力選抜用
 - 入学願書
 - 受験票・写真票
3. 社会人特別選抜用
 - 入学願書
 - 受験票・写真票
 - 調査書
 - 推薦書
 - 出願承諾書
4. 推薦選抜・学力選抜用の共通書式
 - 調査書
5. 推薦選抜・学力選抜・社会人特別選抜用の共通書式
 - 検定料振込依頼書
 - 検定料払込証明書（検定料受付証明書貼付用紙）

令和8年度 専攻科学生募集要項

I. アドミッションポリシー（入学者の受入れに関する方針）

本校専攻科は、入学者として次のような人を広く求めます。

- (1) 技術、科学及び語学の素養のある人
- (2) 幅広い知識・技術の習得に意欲のある人
- (3) 先導的技術者として産業界で活躍し、社会的に貢献する意思のある人

上記の専攻科が求める人材を受け入れるため、以下の選抜を行います。

- (1) 推薦選抜
出身高等専門学校の長が学業成績及び人物ともに優れていると認め推薦し、専攻科が入学者として求める人材像に適合する者を、面接及び調査書を総合して選抜します。
- (2) 学力選抜
専攻科が入学者として求める人材像に適合する者を、学力試験（数学、英語能力）、面接及び調査書を総合して選抜します。
- (3) 社会人特別選抜
企業等に在籍し、所属長が推薦する者のうち、専攻科が入学者として求める人材像に適合する者を、面接及び調査書を総合して選抜します。

II. 募集定員

専攻名	定員
生産環境システム専攻	12名
電気情報システム専攻	8名
合計	20名
先端融合テクノロジー連携教育プログラム※	上記の内から若干名

※本要項 p.9 参照

III. 選抜方法・日程等

入学者の選抜は、推薦選抜、学力選抜、社会人特別選抜とし、次の日程により実施します。

選抜方法	実施期日	募集人員内訳
推薦選抜	令和7年5月17日(土)	生産環境システム専攻6名程度 電気情報システム専攻4名程度
学力選抜	令和7年6月7日(土)	生産環境システム専攻6名程度 電気情報システム専攻4名程度
社会人特別選抜		若干名

IV. 技術者教育プログラム

専攻科（先端融合テクノロジー連携教育プログラム履修者を除く）では、本校が定める「産業システム工学」プログラムを履修します。

このため、本校以外から受験される場合には、出身校での取得単位について、本校規定に従って読み替えを行い、専攻科開講科目の履修によってプログラムの修了要件を満たすことが可能かを確認します。したがって、本校以外から受験（推薦選抜、学力選抜及び社会人特別選抜）される方は、それぞれ入学願書受付開始期日の20日前までに本校学生課教務係にお問合せください。

V. 推薦選抜

1. 出願資格

令和8年3月に高等専門学校卒業見込みの者で、本校以外の高等専門学校在籍者にあつては在籍学校長が、本校在籍者にあつては学科長が学業成績及び人物ともに優れていると認め推薦する者。

2. 出願期間等

(1) 受付期間

令和7年4月28日(月)から令和7年5月2日(金)まで

(2) 受付時間

8時30分から17時00分まで

(3) 受付場所

長野工業高等専門学校 学生課教務係

〒381-8550 長野市徳間716

(郵送の場合は、必ず長野工業高等専門学校学生課教務係宛「書留速達郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書し、上記の期間内に必着のこと。)

3. 出願書類等

出願書類等	摘 要
入 学 願 書	所定の用紙に必要事項を記入してください。
推 薦 書	所定の用紙により、在籍学校長が作成してください。 ただし、本校を卒業見込みの者は、在籍学科長が作成してください。
写 真 票	所定の用紙に必要事項を記入し、出願3か月以内に撮影した写真(正面、上半身脱帽、縦5cm×横4cm)で、裏面に氏名を記入したものを貼付してください。
受 験 票	所定の用紙に必要事項を記入してください。
調 査 書	所定の用紙により、在籍学校長が作成し、厳封してください。
入 学 志 望 調 書	所定の用紙に必要事項を記入してください。
検定料払込証明書	検定料 16,500円 払込方法 「検定料振込依頼書」により、銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農業協同組合のいずれかの金融機関の窓口で払い込んでください。 なお、ATM等機械での振込はできません。 払込証明書 銀行等の受付日付印の押印されている「検定料受付証明書(お客さま用)」を本校所定の用紙に貼付してください。 検定料の払込期間 令和7年4月21日(月)～令和7年5月2日(金)
受験票返信用封筒	長形3号の定型封筒に郵便番号、住所、氏名を記入して、410円分の切手を貼付してください。ただし、本校を卒業見込みの者は、提出不要です。
そ の 他	日本国籍を有しない方は、在留資格確認のため、「住民票の写し」(居住している市区町村長が発行するもの)又は「在留カードの写し」を提出してください。

(注) 検定料については、改定される場合がありますので、ご承知おきください。

4. 出願に関する注意事項

- (1) 出願書類の不備なものは受理しません。志願者は出願に必要な書類を整え提出してください。
- (2) 出願書類の記入は、黒インク又は黒のボールペンを使用してください。
(インクが消せるペンは使用しないでください。)

- (3) 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消す場合があります。
- (4) 願書提出後は、記載事項の変更は一切認めません。
- (5) 受理した出願書類は、返還しません。
- (6) 検定料は次の場合を除き返還できません。
- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を重複で納付した場合
- 上記の場合は、本校学生課教務係にお問合せください。

5. 選抜方法等

入学者の選抜は、面接、調査書及び入学志望調書の内容を総合して行います。

6. 面接日時及び会場

面接期日	時間	選抜方法	会場
令和7年5月17日(土)	9時00分から	面接	長野工業高等専門学校

(注) 開始30分前までに指定する場所に集合してください。

7. 合格者発表

令和7年5月23日(金)16時00分に本校学生玄関前に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。また、在籍学校長にも通知します。

なお、合格者については、16時00分以降本校ホームページ

(<https://www.nagano-nct.ac.jp>)にも掲載します。

電話等による可否の問合せには一切応じられません。

8. 入学確約書の提出について

合格通知を受けた者は、令和7年5月30日(金)17時00分までに「入学確約書」を本校学生課教務係へ提出してください。

なお、郵送の場合は、令和7年5月30日(金)17時00分までに必着のこと。

期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意志がないものとして処理します。

9. 入学手続き

合格者に後日別途通知します。なお、所定の期限内に入学手続きを完了しない者は、入学を許可しません。

10. 「推薦選抜」の結果、合格とならなかった者の「学力選抜」受験について

「推薦選抜」の結果、合格とならなかった者で、「学力選抜」の受験を希望する場合は、再度検定料を納入のうえ、「学力選抜」に定めるところにより出願手続きをしてください。この際、「調査書」の提出は必要ありません。

VI. 学力選抜

1. 出願資格

次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和 8 年 3 月に卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は令和 8 年 3 月に卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学できる者及び令和 8 年 3 月までに同要件を満たす見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (6) わが国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他本専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 出願期間等

- (1) 受付期間

令和 7 年 5 月 21 日(水)から令和 7 年 5 月 27 日(火)まで

- (2) 受付時間

8 時 30 分から 17 時 00 分まで

- (3) 受付場所

長野工業高等専門学校 学生課教務係

〒 381-8550 長野市徳間 716

(郵送の場合は、必ず長野工業高等専門学校学生課教務係宛「書留速達郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書し、上記の期間内に必着のこと。)

3. 出願書類等

出願書類等	摘 要
入 学 願 書	所定の用紙に必要事項を記入してください。
写 真 票	所定の用紙に必要事項を記入し、出願 3 か月以内に撮影した写真(正面、上半身脱帽、縦 5cm×横 4cm)で、裏面に氏名を記入したものを貼付してください。
受 験 票	所定の用紙に必要事項を記入してください。
調 査 書	1. 所定の用紙により、出身学校長又は学長が作成し、厳封してください。 2. 「1. 出願資格 (3)」により出願する者は、次の証明書等を併せて提出してください。 (1) 専修学校が発行する修業年限 2 年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が 1,700 時間の専門課程を修了したことを証明する証明書。 (2) 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類。 3. 「1. 出願資格 (4)」により出願する者は、出願資格に係る最終学校の成績証明書を併せて提出してください。
英語能力に関する書類 (TOEIC スコア) ※1	学力選抜の検査日から遡って 2 年以内に実施した試験で取得した公式認定書のコピー又は、IP テストのスコアレポートのコピーとそれが本人のものであることを所属機関が証明するものを添付してください。(証明書の様式については、学生課教務係へ照会願います。)

検定料払込証明書	<p>検定料 16,500 円 ※2</p> <p>払込方法 「検定料振込依頼書」により、銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農業協同組合のいずれかの金融機関の窓口で払い込んでください。 なお、ATM 等機械での振込はできません。</p> <p>払込証明書 銀行等の受付日付印の押印されている「検定料受付証明書（お客さま用）」を本校所定の用紙に貼付してください。</p> <p>検定料の払込期間 令和 7 年 5 月 14 日(水)～令和 7 年 5 月 27 日(火)</p>
受験票返信用封筒	長形 3 号の定型封筒に郵便番号、住所、氏名を記入して、410 円分の切手を貼付してください。ただし、本校を卒業見込みの者は、提出不要です。
その他	日本国籍を有しない方は、在留資格確認のため、「住民票の写し」（居住している市区町村長が発行するもの）又は「在留カードの写し」を提出してください。

※1 TOEIC スコアは、TOEIC L&R を指します。

※2 検定料については、改定される場合がありますので、ご承知おきください。

4. 出願に関する注意事項

- (1) 出願書類の不備なものは受理しません。志願者は出願に必要な書類を整え提出してください。
- (2) 出願書類の記入は、黒インク又は黒のボールペンを使用してください。
(インクが消せるペンは使用しないでください。)
- (3) 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消す場合があります。
- (4) 願書提出後は、記載事項の変更は一切認めません。
- (5) 受理した出願書類は、返還しません。
- (6) 検定料は次の場合を除き返還できません。
 - ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を重複で納付した場合
上記の場合は、本校学生課教務係にお問合せください。

5. 選抜方法等

入学者の選抜は、学力試験、英語能力、調査書及び面接の結果を総合して行います。

- (1) 学力試験の試験科目等

専攻名	試験科目	出題分野
生産環境システム専攻 電気情報システム専攻	数 学	微分積分 (1 変数, 2 変数, 微分方程式を含む) 線形代数 (線形変換及び行列の対角化を含む)

- (2) 英語能力については、TOEIC スコアにより評価します。
なお、TOEIC スコアは以下のとおり英語能力に換算します。

【換算点】

英語能力 = ((TOEIC スコア) - 100) × 0.2 点

※ ただし、TOEIC スコアが 100 点以下の場合は、英語能力を 0 点とし、上記の換算式は適用されません。また、TOEIC スコアが 600 点以上の場合、英語能力を 100 点とし、上記の換算式は適用されません。

6. 学力試験等の日時及び試験場

期 日	科 目	時 間	会 場
令和7年6月7日(土)	数 学	9時30分～10時30分	長野工業高等専門学校
	面 接	11時00分～	

(注1) 開始30分前までに指定する場所に集合してください。

7. 合格者発表

令和7年6月13日(金)16時00分に本校学生玄関前に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

なお、合格者については、16時00分以降本校ホームページ

(<https://www.nagano-nct.ac.jp>)にも掲載します。

電話等による可否の問合せには一切応じられません。

8. 入学確約書の提出について

合格通知を受けた者は、令和7年7月25日(金)※17時00分までに「入学確約書」を本校学生課教務係へ提出してください。

なお、郵送の場合は、令和7年7月25日(金)17時00分までに必着のこと。

期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意志がないものとして処理します。

※連携教育プログラムへの出願予定者は、早めの提出期限となる可能性があります。

その提出期限は当該出願者へ別途通知します。

9. 入学手続き

合格者には後日別途通知します。なお、所定の期限内に入学手続きを完了しない者は、入学を許可しません。

Ⅶ. 社会人特別選抜

1. 出願資格

次の各号の一に該当する者で、企業等に在籍している者のうち、所属する企業等の所属長の推薦を得た者とする。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) わが国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他本専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 出願期間等

- (1) 受付期間

令和7年5月21日(水)から令和7年5月27日(火)まで

(2) 受付時間

8時30分から17時00分まで

(3) 受付場所

長野工業高等専門学校 学生課教務係

〒381-8550 長野市徳間716

(郵送の場合は、必ず長野工業高等専門学校学生課教務係宛「書留速達郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書し、上記の期間内に必着のこと。)

3. 出願書類等

出願書類等	摘 要
入 学 願 書	所定の用紙に必要事項を記入してください。
写 真 票	所定の用紙に必要事項を記入し、出願3か月以内に撮影した写真(正面、上半身脱帽、縦5cm×横4cm)で、裏面に氏名を記入したものを貼付してください。
受 験 票	所定の用紙に必要事項を記入してください。
調 査 書	1. 所定の用紙により、出身学校長又は学長が作成し、厳封してください。 2. 「1. 出願資格(3)」により出願する者は、次の証明書等を併せて提出してください。 (1) 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1,700時間の専門課程を修了したことを証明する証明書。 (2) 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類。 3. 「1. 出願資格(4)」により出願する者は、出願資格に係る最終学校の成績証明書を併せて提出してください。
実務経験報告及び志望理由書	①企業等における実務経験、②志望理由の2項目について、日本語で句読点を含み800字以上、または英語を用いて400ワード以上で記述(形式は自由)してください。パソコン等で作成しても差し支えありません。なお、実務経験報告及び志望理由書には氏名を記入し、最下段に総字数(英語の場合は総ワード数)を記載してください。
推 薦 書	所定の用紙に、企業等の所属長が必要事項を記入してください。
出 願 承 諾 書	企業等に在職のまま入学を希望する志願者のみ提出してください。 所定の用紙に、企業等の所属長が必要事項を記入してください。
検定料払込証明書	検定料 16,500円 払込方法 「検定料振込依頼書」により、銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農業協同組合のいずれかの金融機関の窓口で払い込んでください。 なお、ATM等機械での振込はできません。 払込証明書 銀行等の受付日付印の押印されている「検定料受付証明書(お客さま用)」を本校所定の用紙に貼付してください。 検定料の払込期間 令和7年5月14日(水)～令和7年5月27日(火)
受験票返信用封筒	長形3号の定型封筒に郵便番号、住所、氏名を記入して、344円分の切手を貼付してください。
そ の 他	日本国籍を有しない方は、在留資格確認のため、「住民票の写し」(居住している市区町村長が発行するもの)又は「在留カードの写し」を提出してください。

(注) 検定料については、改定される場合がありますので、ご承知おきください。

4. 出願に関する注意事項

- (1) 出願書類の不備なものは受理しません。志願者は出願に必要な書類を整え提出してください。
- (2) 出願書類の記入は、黒インク又は黒のボールペンを使用してください。
(インクが消せるペンは使用しないでください。)
- (3) 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消す場合があります。
- (4) 願書提出後の記載事項の変更は一切認めません。
- (5) 受理した出願書類は、返還しません。
- (6) 検定料は次の場合を除き返還できません。
 - ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を重複で納付した場合上記の場合は、本校学生課教務係にお問合せください。

5. 選抜方法等

入学者の選抜は、調査書及び面接の結果を総合して行います。

6. 面接日時及び試験場

期 日	時 間	選抜方法	会 場
令和7年6月7日(土)	11時00分から	面接	長野工業高等専門学校

(注1) 開始30分前までに指定する場所に集合してください。

7. 合格者発表

令和7年6月13日(金) 16時00分に本校学生玄関前に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

なお、合格者については、16時00分以降本校ホームページ
(<https://www.nagano-nct.ac.jp>) にも掲載します。
電話等による可否の問合せには一切応じられません。

8. 入学確約書の提出について

合格通知を受けた者は、令和7年7月25日(金) 17時00分までに「入学確約書」を本校学生課教務係へ提出してください。

なお、郵送の場合は、令和7年7月25日(金) 17時00分までに必着のこと。

期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意志がないものとして処理します。

9. 入学手続き

合格者には後日別途通知します。なお、所定の期限内に入学手続きを完了しない者は、入学を許可しません。

VIII. 豊橋技術科学大学3年次入学者選抜(先端融合テクノロジー連携教育プログラム)

先端融合テクノロジー連携教育プログラムは、本校と豊橋技術科学大学が強みをもつ教育資源を有効活用しつつ、地域等の社会で活躍することができる分野横断型の実践的技術者を育成することを目的とし、本校と豊橋技術科学大学が連携・協力して実施するものです。同プログラム履修者は、本校専攻科と豊橋技術科学大学の双方に在籍し、それぞれの課程を修了することにより、本校専攻科修了証書並びに豊橋技術科学大学卒業証書(学士の学位記)が交付されます。

先端融合テクノロジー連携教育プログラムの選抜は推薦選抜及び学力選抜合格者から、同プログラム履修を希望する者に豊橋技術科学大学第3年次入学者選抜を実施します。豊橋技術科学大学での選抜で不合格となった場合でも、本校専攻科への入学は保障されます。

先端融合テクノロジー連携教育プログラムの選抜は「令和8年度豊橋技術科学大学第3年次学生募集要項(先端融合テクノロジー連携教育プログラム)」をご確認ください。

1. 出願資格

先端融合テクノロジー連携教育プログラム履修を希望する者で、本校専攻科で行う令和8年度推薦選抜又は学力選抜に合格し、入学確約書を所定の期日までに提出した者。

2. 出願期間等

令和7年6月20日(金)から令和7年6月30日(月)17時までに豊橋技術科学大学に必着のこと。

3. 選抜方法等

入学者の選抜は、「令和8年度豊橋技術科学大学第3年次学生募集要項(先端融合テクノロジー連携教育プログラム)」に基づき実施されます。

(参考) 豊橋技術科学大学入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

豊橋技術科学大学は、技術を支える科学を探究し、より高度な技術を開拓する学問としての“技術科学”の教育・研究を使命としています。この使命のもと、本学では学部・大学院一貫教育に重点を置いた特色ある技術科学教育を通じて、豊かな人間性と自然と共生する心を持ち、グローバルに活躍できる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者を育成します。

このため、本学では次のような人物を広く求めます。

1. 人と自然を愛し、地域社会やグローバル社会の発展に貢献する志を持つ人
2. 技術や科学を探究する志を持ち、それらの学習に必要な基礎学力がある人
3. 自ら積極的に学び、考え、行動し、技術科学の新しい地平を切り拓く志を持つ人

[先端融合テクノロジー連携教育プログラム入学者選抜方針]

入学志願票等では、専門分野の知識・技術及び幅広い一般教養と、高等専門学校の学習活動や特別活動を通して育成された資質及び能力を総合的に評価します。分野横断型の実践的研究への意欲を有する優秀な学生を選抜します。

※各課程のアドミッション・ポリシーは豊橋技術科学大学ウェブサイト〔入試案内>入試に関する情報>アドミッション・ポリシー〕を参照してください。

Ⅷ. 推薦選抜, 学力選抜, 社会人特別選抜における共通の注意事項

1. 合理的配慮の提供

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、事前相談書（様式任意）に次の内容を記載し、早めに本校学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、試験期日の1ヶ月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、出願者、出願者の保護者等及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

- ① 志望専攻
- ② 障害の種類及び程度
- ③ 受験上、修学上特別な配慮を希望する事項
- ④ 出身学校等でとられていた措置
- ⑤ 日常生活の状況等

※事前相談書には、医師による診断書又は身体障害者手帳の写しを添付してください。

2. 災害救助法適用地域における災害に伴う検定料免除の臨時措置について

令和7年度の災害救助法適用地域における被災した者の本校受験について、被災日以降に出願手続きをする入学者選抜において、下記のとおり検定料を免除する特別措置を行います。

1. 対象者

令和8年度において本校に入学を志願するもので、その主たる家計支持者が令和7年度に災害救助法適用地域に居住していて被災した場合で、市町村等から「罹災証明書」等の発行を受けられる者。

2. 検定料免除の申請方法

検定料の免除を希望する者は、出願の際に検定料を払わずに、次の①②の必要書類を取り揃え、他の出願書類とともに提出してください。

- ① 検定料免除申請書（指定様式）（本校学生課教務係にお問合せください）
- ② 市町村等が発行した「罹災証明書」等

既に払込みをした検定料については、還付の申し出により返還をします。本校学生課教務係へご連絡ください。

3. 個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料及び入学手続きに係る業務に利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

4. 入試成績の開示について

入試成績の開示請求手続きについては、本校学生課教務係まで問合わせてください。

5. 受験票について

試験中は、必ず 受験票 を携行してください。

6. 追試験について

学校保健安全法施行規則第十八条に定める感染症に罹患又は罹患している疑いがあり、推薦選抜、学力選抜、社会人特別選抜を受験することができなかった者は「追試験」を受験することができます。追試験の対象となると分かった時点で、必ず、学生課教務係に連絡してください。追試験の実施日は、次のとおりです。

選 抜	期 日	会 場
推 薦 選 抜	令和7年5月24日（土）	長野工業高等専門学校
学 力 選 抜	令和7年6月14日（土）	
社会人特別選抜		

なお、追試験の詳細は、対象者に別途案内します。

9. その他

学生募集要項及びその他ご不明な点は、下記まで照会してください。

長野工業高等専門学校

〒381-8550 長野市徳間 716

電 話 026-295-7017（学生課教務係）

F A X 026-295-4950（学生課）

専攻科入学案内

I. 目標とする人材像

1. 工学の基礎知識を備え、倫理観を持ち、自ら問題を発見し、技術的知識・技能を駆使して問題を解決していくことができる実践的技術者
2. 幅広い教養を備え、社会、環境等の諸問題に自ら関心を示し、リーダーシップを発揮して積極的に社会に関わっていく人材
3. 文化の多様性を認識し、自ら諸外国との交わりに関心を抱き、国際社会に貢献できる人材

II. 各専攻の教育上の目的

生産環境システム専攻

機械・電子制御，生産システムまたは土木・都市環境に関連する専門知識・技術をより深く修得・応用し，知能機械装置，製造システム，社会基盤の整備等の分野で開発・研究ができる実践的・創造的な技術者の養成を目的としています。

電気情報システム専攻

エレクトロニクス，情報通信，電力に関連する専門知識・技術をより深く修得・応用し，電気電子機器，電子デバイス，電子通信システム，計算機・情報システム等の分野で開発・研究ができる実践的・創造的な技術者の養成を目的としています。

III. 専攻科のディプロマポリシー（修了の認定に関する方針）

目標とする人材像

専攻科は，高等専門学校における教育の基礎の上に，精深な程度において工業に関する高度な専門知識を教授研究し，もって広く産業の発展に寄与する技術者を養成することを目的とする。

上記の目標とする人材像と各専攻の人材養成上の目的に即して，自ら問題を見つけ解決することができるよう主体的学習に取組み，以下に示す能力を身につけ，所定の単位を修得した学生に対して修了を認定します。

1. 理工学分野における，より専門性の高い知識・技術力
2. エンジニアリングデザインの基盤となる能力，チームワーク力
3. グローバル化への高い対応能力

上記に加え，各専攻において身につけるべき能力を以下に示します。

生産環境システム専攻

機械・電子制御，生産システムまたは土木・都市環境に関連するより深い専門知識・技術力及び知能機械装置，製造システム，社会基盤の整備等の幅広い分野に柔軟に対応できる能力

電気情報システム専攻

エレクトロニクス，情報通信，電力に関連するより深い専門知識・技術及び電気電子機器，電子デバイス，電子通信システム，計算機・情報システム等の幅広い分野に柔軟に対応できる能力

IV. 専攻科のカリキュラムポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

ディプロマポリシーを達成するために、以下のカリキュラムポリシーに則り、教育課程を編成します。

1. より専門性の高い知識・技術内容の修得を目的として、理工学分野の科目を設定します。
2. 設計、開発における具体的な体験・学習を目的として、学外での実習等の関連科目を設定します。
3. 学際的素養が身につくよう国際社会に通用する外国語、歴史、技術者倫理等の科目を設定します。

上記ポリシーに加え、各専攻のポリシーを以下に示します。

生産環境システム専攻

より高度な幅広い技術内容を修得するために、生産・建設システム関連科目、材料・設計関連科目及びエネルギー・環境システム関連科目を設定します。

電気情報システム専攻

より高度な幅広い技術内容を修得するために、電気・情報・生産システム関連科目及びエネルギー関連科目を設定します。

上記により設定される各科目における達成度評価は、試験、課題等を考慮して、科目担当教員が100点満点によって評価します。評価項目、評価割合はそれぞれのシラバスに記載します。

V. 専攻科教育課程の概要

1. 基本方針

本校専攻科では、学生の自主的な学習意欲を尊重します。学生の幅広い分野の勉学意欲、今日の多様な社会的ニーズに対処できるように、2専攻共通科目を設定し、幅広い専門科目が履修できます。また、豊橋技術科学大学との協定に基づいて先端融合テクノロジー連携教育プログラムを設定し、より実装力を強化する科目群が履修できます。

教育科目は大別して一般科目、専門科目からなり、専門科目は専攻共通科目と各専攻別科目に分けられます。一般科目においては国際社会に通用する外国語、歴史、技術者倫理、経済等に重点をおいた科目を開設し、学際的素養が身につくようにしています。専門科目における専攻共通科目は、社会環境の変化と科学技術の急速な進歩、特に高度情報化社会に対応できる技術の習得に配慮しています。

2. 各専攻の教育課程の概要

(1) 生産環境システム専攻

機械工学、制御工学、環境都市工学等の分野では、大規模化、高精度化、多機能化が進んでおり、これらの産業規模拡大の結果、環境保全が極めて重要になっています。本校の本科課程では、学科別に各分野の基礎技術について修得しますが、本専攻においては、より高度な技術について教授し、生産・建設システム関連科目、材料・設計関連科目、エネルギー・環境システム関連科目について幅広い技術内容を修得します。更に長期学外実習、実践工学演習において企業等における先端技術開発の実際について学び、特別研究Ⅰ、Ⅱ、産業システム工学輪講、機能デザイン等において、設計、開発における具体的な体験及び学習を行います。

(2) 電気情報システム専攻

電気電子工学における電気機器、電子回路は、情報技術と有機的に結合して急速に発展しています。また、情報技術はコンピュータ内にとどまらず、あらゆる機器と結合して生活の中に入り込み、その真価を發揮しています。本専攻では、組込み技術や応用論理回路、知識工学等を共通の情報技術として修得し、電気電子工学に関する各種応用、及び画像処理、情報セキュリティ等について先端的な技術内容を修得します。更に長期学外実習、実践工学演習において企業等における先端技術開発の実際について学び、特別研究Ⅰ、Ⅱ、産業システム工学輪講、機能デザイン等において、設計、開発における具体的な体験及び学習を行います。

3. 学士の学位取得

生産環境システム専攻及び電気情報システム専攻の学生は、在学中に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の行う審査を受けて「学士（工学）」の学位を取得することができます。本校専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構より特例適用専攻科に認定されていますので、学修成果レポートの提出と小論文試験を受ける必要はありません。ただし、単位取得状況によっては特例適用の対象とならず、個別に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学修成果レポートの提出と小論文試験を受ける場合があります。

先端融合テクノロジー連携教育プログラムの学生は、豊橋技術科学大学が定める卒業、学位授与の要件をみたすことで「学士（工学）」の学位を取得することができます。

VI. 諸経費・福利厚生等

1. 必要な諸経費

①生産環境システム専攻、電気情報システム専攻

- (1) 入学料 …………… 84,600 円 入学手続き時に納入
- (2) 授業料（年額）…………… 234,600 円(半期 117,300 円)金融機関に開設した口座から年2回に分けて口座振替方式により徴収。

※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

- (3) 日本スポーツ振興センター掛金……………1,550 円
- (4) その他教科書代等

〔注〕入学料、授業料（年額）等については、改定される場合がありますので、ご承知おきください。

②先端融合テクノロジー連携教育プログラム

- (1) 入学料 ……………141,000 円（半額免除）入学手続き時に納入
(豊橋技術科学大学に納入)

- (2) 授業料 1 年目……………267,900 円（半額免除）
授業料 2 年目……………535,800 円
半期分を年 2 回に分けて納入（豊橋技術科学大学に納入）。

※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改訂時から新授業料が適用されます。

- (3) その他保険、教科書代等

〔注〕入学料、授業料（年額）については、改定される場合がありますので、ご承知おきください。

2. 入学料免除制度

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡した場合、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けて納付が困難であると認められる者に対しては、選考のうえ入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

この他、高等教育の修学支援新制度において、既に認定を受けている者、もしくは入学後に申請し認定された者は、入学料の全額もしくは一部が免除されます。

3. 入学料徴収猶予制度

経済的理由により、納付期限までに納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者に対し、選考のうえ入学料の徴収を猶予する制度があります。

4. 授業料免除制度

高等教育の修学支援新制度において、既に認定を受けている者、もしくは入学後に申請し認定された者は、授業料の全額もしくは一部が免除されます。

この他、経済的理由により、授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者に対し、選考のうえ授業料の全額又は半額を免除する制度があります（本科卒業生対象）。

5. 独立行政法人日本学生支援機構貸与奨学金

学業・人物ともに優秀であると認められるが、経済的理由により学資の支弁が困難である学生に対し、選考の上貸与される制度です。日本学生支援機構では学業、人物ともに優秀で、かつ健康であり、経済的理由により学資の支弁が困難と認められる学生に対し選考のうえ奨学金を貸与します。詳細については、入学手続き時に案内します。

6. 独立行政法人日本学生支援機構給付奨学金

高等教育の修学支援新制度において、既に認定を受けている者、もしくは入学後に申請し認定されると受給できる、原則として返還義務のない奨学金です。詳細については、入学手続き時に案内します。

〔注〕免除制度、徴収猶予制度、各奨学金については、改定される場合があります。

7. 学生寮

本科学生の入寮に欠員がある場合に限り、入寮希望申請に基づき審査の上、入寮が許可される場合があります。なお、連携教育プログラム履修学生には優先的に入寮を許可します。